

日本共産党

JCP

第27号

こんにちは

渡辺みのる

です

東村山市議会議員



東村山市議会議員 渡辺みのる活動報告

本気のジェンダー平等を

すべての人が尊重される社会へ

日本共産党は、今年行われた参議院選挙で「個人の尊厳とジェンダー平等のために」というタイトルで政策を提言しました。

世界中で広がっている「#MeToo」運動などと協力し、声をあげた人たちを孤立させず、「声を上げられずに苦しんでいる人の痛みを自分の痛みとして、ともにたたかいたい」という決意が込められています。

私自身、会社に勤めていた時に、

子どもの病気などで休みを取ろうと上司に相談した際「なんで君が休むんだ。奥さんはどうした」と言われたことが何度もあります。

今でも、様々な場面で「女性だという理由で対応や扱いに差がつけられて傷ついている方がたくさんいます。なぜ「女性だから」といって差別されなければならないのでしょうか。生理や妊娠・出産、更年期障害

など女性特有の事情もあることは確かです。だからといって、個人としての能力や権利に差をつける必要性はないはず。

社会には進学や就職、働き方から生き方に至るまで、「性」による拘束が根強く残っています。性の違いや性的マイノリティへの差別をなくし、誰もが自分らしく生きられる社会へ向けて取り組んでいきます。

また、性暴力の問題も深刻です。日本では、性暴力に対する刑事罰があまりにも軽すぎるうえに、「申告罪」なので被害者が一部始終を事細かに告発し被害届を提出しなければなりません。また、取り調べの尋問内容などは「セカンドレイプ」との指摘もあります。

「ジェンダー平等」は女性だけを対象にしている訳ではありません。女性が、女性にたいする差別や暴力はなくさなければなりません。多様性を認め合い、すべての差別をなくし、だれもが安心して希望を持って生きられる社会にしていくために、「With You」の輪を広げて、みなさんと一緒に取り組んでいきます。

←日本共産党の「ジェンダー平等」パンフレット(全文)はコチラでチェック



2020年度予算要望を提出

日本共産党市議団は、11月11日、東村山市に「2020年度予算に対する要求



の願いに応えた市政に変えていくために頑張ります。

「書」を提出しました。(写真) 国保税の引き下げや認可保育園・特養ホームの増設、学校運営費の増額、生活道路の修繕など市民の要望が多い項目や、災害対応や障がい者福祉など、自治体として市民の生活を守るために予算を使うように要請しました。



お困りのことなどお気軽にご相談ください。

■東村山市議団法律相談

場所：東村山市役所 日本共産党控室
日時：毎月第1水曜日(月により変更有)
※要予約のため、渡辺までご連絡ください。

■東村山市議会12月定例会

11月28日(木)～12月19日(木)
日本共産党市議団の一般質問は、
12月3日(火)午後と、4日(水)午後
ぜひ傍聴にお越しください。



渡辺みのる子育て日誌⑫

子どもたちは写真が好きだ。というより、自分が写っている写真や動画を見るのが好きなのだ。

ダンスを踊ったり歌を歌ったりしている時に、大人がカメラ(携帯)を持って動画を撮る準部をしていると、「写真撮って〜」。特に三女は自分の動画を見るのが大好きで、撮ってるそばから見たがる。

お姉ちゃんしか映っていない画面を見て「三女(自分の名前)は〜?」。

そこで見てるんだから映ってるはずがない！
外食に行ったり、出かけたときに飽きてぐずったときにも「写真(動画)見る？」と声をかけると、膝に座って静かに見ている。

私も妻も、スマホのストレージを気にしながらの撮影になっている。

SNSやっています！

SNS上でのメッセージなどでもご意見をお寄せください。

「渡辺みのる」で検索！